


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	LINE等システム導入事業			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第2節 パートナースhip 1 情報共有			
	所管部署	企画財政 部	秘書広報 課	広報広聴 係	内線 314
	根拠法令等	—			
	目的	・多くの市民が利用しているLINEを活用することで、市政情報等をより効果的に発信する。 ・LINE、SNS（X・フェイスブック）、ホームページ、メール等に一括で発信できるシステムを導入することで、情報発信をより活発に行う。			SDGsの取組 16 平和と公正をすべての人に 
内容	当初、新型コロナウイルス感染症対策室がワクチン接種予約用に運用していた市公式LINEアカウントを、市政情報の発信に活用するもの。また、防災安全課が災害情報発信に活用していたシステム「すぐメールプラス」にLINEを連携させることで費用の抑制を図った。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	LINE登録者数	人	目標	—	3,000	5,000
				実績	—	3,285	
達成率				—	110%		
2	「すぐメールプラス」からの情報発信件数	件	目標	—	360	600	
			実績	—	487		
			達成率	—	135%		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		0	3,641	2,079
財源内訳	一般財源	-	958	2,079
	国都支出金	-	2,683	0
	その他	-	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,539	2,350	859
人件費	所要人員（人）	0.20	0.30	0.10
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		1,539	5,991	2,938

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当


令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
市政情報等の発信手段として活用するためシステム改修を行い、令和6年7月から運用を開始した。LINE登録者数は令和6年度末で3,285人、令和7年5月末時点では4,009人と順調に増加しており、多くの市民等が市からの情報を受信している。 また、各課からの情報発信件数も、令和6年7月から令和7年3月末までの9か月間で487件となっており、令和5年度のX投稿数が469件だったことを踏まえると、システム導入によって職員の負担が軽減されることなどにより発信件数の増加につながっていることが推測できる。	LINEやSNSに限ったことではないが、市から発信される情報は公平性を保つため、文章が難しく、市民にとって分かりづらいものになりがちである。現在、市政情報の発信に当たっては各課で作成した文章をそのまま配信しているため、担当課によって内容の分かりやすさに差が生じている。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業の運用開始以降、LINE登録者数や各課からの情報発信件数といった数値については順調に伸びているものの、上述の課題に挙げたとおり、発信内容については担当課によって分かりづらいものが見られる。市全体を通して発信の内容を分かりやすいものとするよう、各課への周知を行っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		LINE等システム導入事業	
所管部署		企画財政部 秘書広報課 広報広聴係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、多くの市民に適切な情報を素早く確実に届けるため、市政情報等の発信手段としてLINEを活用するものであり、効率性や利便性の向上の観点からその意義が認められる。また、LINEや他のSNSへ一斉配信できるシステムを活用した情報発信により、LINE登録者数及び市政情報等の発信件数の増加にも寄与していることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、各所管課は、それぞれ独自に情報配信しているため、配信内容や回数にばらつきが生じている。また、ユーザーである市民の立場に立つと、頻繁な配信は真に必要な情報の伝達を阻害し、かえってユーザーの離脱を招くおそれがある。</p> <p>よって、フォーマットの共通化により、配信内容を平準化し、配信回数に一定のルールを設けるなど、配信者と利用者の双方にとって最も効果的な運用方法へと見直すことが望ましい。また、利用者拡大に向けては、本事業の利便性を周知していくことが肝要である。特に、本市の情報を必要とする転入者や、SNS等の利用が不慣れな方等に焦点を当てることが重要である。</p> <p>なお、LINEの性格上、サイバー犯罪や情報漏洩等に十分に留意をしてほしい。</p> <p>さらに今後は、LINEの利便性を踏まえ、情報発信だけでなく、相談やオンライン手続への活用など、その活用範囲を広げていくことを期待したい。</p>		

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	協働事業提案制度			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第2節 パートナーシップ 2 市民参加と協働			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	武蔵村山市協働事業提案制度実施要綱			
目的	暮らしやすい地域社会の形成を目指し、市政への市民参加の促進及び市民活動団体の育成を図るとともに、市民による地域の課題等の解決のため、市民との協働によるまちづくりを推進する。			SDGsの取組 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
内容	市民活動団体の専門性や柔軟性等をいかした事業の提案を募集することにより、市政への市民参加の促進及び市民活動団体の育成を図るとともに、市民による地域の課題、社会的課題等の解決につなげ、暮らしやすい地域社会の形成を目指す。 事業の提案は、「団体育成型事業」と「市政参加型事業」で募集し、採択された事業に補助金を交付する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	協働事業提案制度の提案団体数 (各年度の目標なし。長期総合計画で令和3年度から令和7年度まで累計15件としている。)	団体
2	補助金交付団体数 (各年度の目標なし。長期総合計画で令和3年度から令和7年度まで累計15件としている。)	団体	実績	—	1	
			達成率	—	—	
			目標	—	—	—
			実績	—	4	
			達成率	—	—	
			目標	—	—	—

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	—			
事業費(千円)	1,434	141	929				
財源内訳	一般財源	1,434	141				929
	国都支出金	0	0				0
	その他	0	0				0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	3,077	3,525				3,862
	所要人員(人)	0.40	0.45				0.45
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00
合計(事業費+人件費)	4,511	3,666	4,791				


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和5年度に制度の見直しについて市民協働推進会議で審議したため、令和6年度実施事業の募集は休止している。 令和6年度は要綱改正を行い、制度見直し後の内容で協働事業令和7年度実施事業の募集を行い、団体育成型事業1件を採択した。	令和5年度に、従来の課題であった市と市民活動団体の「協働」「制度の目的」に対する認識の乖離や補助金額の適正化について審議し、その結果に基づいて、令和6年度に制度の見直しを行った。 令和7年度実施事業の募集に対し、提案件数が1件にとどまっており、更なる制度の周知が必要である。

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
令和5年度に、事業の種類や補助の内容等、制度の在り方について市民協働推進会議で審議し、その結果に基づいて、令和6年度に制度の見直しを行ったところである。 今後は、制度の周知による提案件数の増加を図るとともに、実施事業の審議や採択事業について評価する中で、改善点があれば定期的に見直しを行っていく。	今後の方針 コスト 削減 維持 増加			
	成果	向上		○
		維持		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域連携推進事業			
	施策名称	第1章 市民との協働による地域振興 第2節 パートナーシップ 2 市民参加と協働			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	—			
目的	市と大学や企業等が連携・協力し双方の資源を活用することにより、地域課題の解決に努め、市民サービスを効果的に提供することを目的とし、地域連携の推進を図る。			SDGsの取組 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
内容	大学等と連携協力し、経済・産業・文化等の様々な分野における連携を推進する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	地域包括連携協定の締結件数（各年度末時点の累計件数）	件
			実績	6	6	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	0	0	
財源内訳	一般財源	-	-	-	
	国都支出金	-	-	-	
	その他	-	-	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	231	470	859	
	所要人員（人）	0.03	0.06	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		231	470	859	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民のニーズに適合しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性 <td>民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和6年度における地域包括連携協定を締結した企業数は0社であるが、包括連携協定を締結した場合の協定内容について、庁内で審議した。 また、複数の企業と新たな包括連携協定締結に向けて協議中である。	協定の締結に当たっては、相互のメリットを見出し、相乗効果を図れるように調整する必要がある。 協定締結後における連携事業の継続的な実施が課題となっている。 近年は、環境、福祉、防災等の各分野で民間企業等と単独で協定を締結する事例が多くあり、包括連携協定の意義が問われている。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
複数の企業から地域包括連携協定について打診があり、令和6年度には包括連携協定を締結した場合の協定内容について庁内で審議しており、今後は審議した内容を踏まえ、各企業と協定の締結に向けて調整を進めていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								